

ISベース柱脚工法設計・施工標準図（参考図）
(SP:角型鋼管用 保有耐力接合タイプ) 1/3

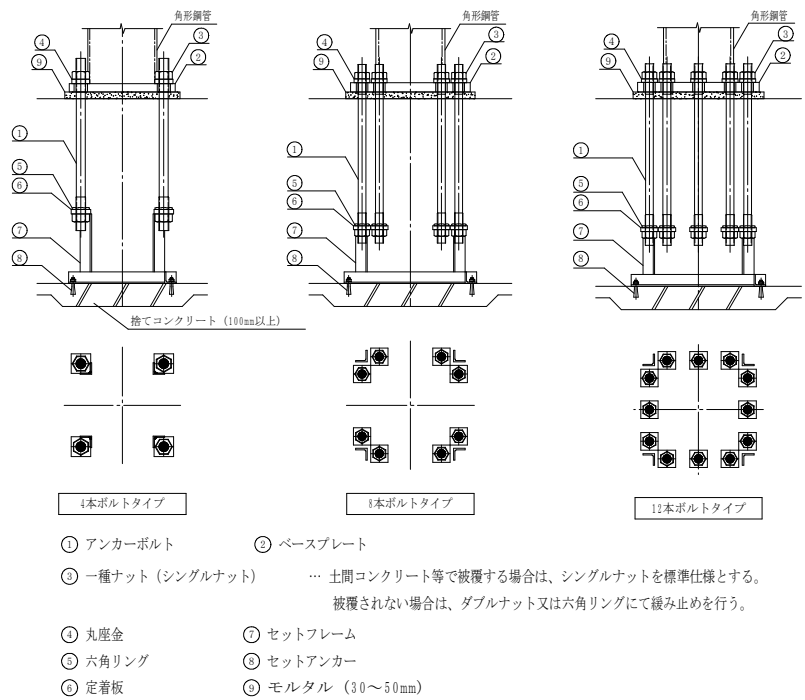
一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCI評定—ST0282-01（2019年9月20日）

国土交通大臣認定番号（アンカー用ボルトセット）		※（ ）はミルメーカーと加工工場を示す。	
MBLT-0116	M24～M48（朝日工業・アイエスケー中島工場）	MBLT-0180	M24～M48（朝日工業・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0144	M30～M48（JFE条鋼・アイエスケー中島工場）	MBLT-0181	M30～M48（JFE条鋼・アイエスケー前橋工場）
MBLT-0164	M52～M76（JFE条鋼・アイエスケー前橋工場）		

適用柱材
F値=235N/mm2, 275N/mm2, 295N/mm2, 325N/mm2
2020年8月作成

同等品を使用する場合、監督員及び
監理者に承認を得る事。

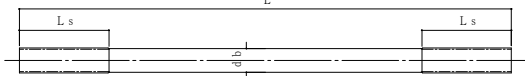
1. 構造概要



3. アンカー用ボルトセット

3-1. アンカーボルト

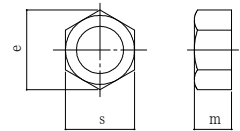
材料： 大臣認定材料（ISB740C, ISB740E, ISB800B）



品番	呼び径	ピッチ	d b			L	L s
			ISB740C	ISB740E	ISB800B		
A1	M24	3.0	22.0	—	—	59.5	100
A21	M30	3.5	28.0	—	—	60.5	115
A31	M36	4.0	33.15	33.0	—	67.5	130
A34						82.5	
A41						74.5	
A42						84.5	
A43	M42	4.5	38.92	38.8	—	94.5	145
A44						104.5	
A52						101.5	
A53	M48	5.0	45.0	—	—	111.5	160
A61						110.0	
A62						120.0	
A71	M56	5.5	—	—	52.0	116.5	195
A72						126.5	
A81	M60	5.5	—	—	56.0	123.0	205
A91	M64	6.0	—	—	60.0	129.5	215
A92						139.5	
AA1	M68	6.0	—	—	64.0	136.0	225
AA2						146.0	
AB1	M72	6.0	—	—	67.8	142.5	235
AC1	M76	6.0	—	—	71.8	149.0	245

3-2. ナット

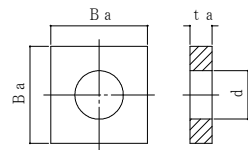
種類： 1種六角ナット JIS B 1181
強度区分： JIS B 1052 8 (M48以下)
強度区分： JIS B 1052 10 (M52以上)



呼び径	m	s	e
M24	19	36	41.6
M30	24	46	53.1
M36	29	55	63.5
M42	34	65	75.0
M48	38	75	86.5
M52	42	80	92.4
M56	45	85	98.1
M60	48	90	104.0
M64	51	95	110.0
M68	54	100	115.0
M72	58	105	121.0
M76	61	110	127.0

3-4. 定着板

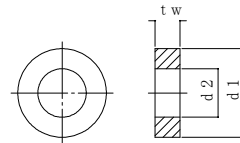
材質： 一般構造用圧延鋼材 SS400 (M48以下)
溶接構造用圧延鋼材 SM490A (M52以上)



呼び径	品番	Ba	ta	d
M24	P1	50	9	26
M30	P2	65	12	32
M36	P3	75	16	38
M42	P4	85	19	44
M48	P5	95	22	50
M52	P6	115	25	54
M56	P7	120	25	58
M60	P8	130	28	62
M64	P9	135	32	66
M68	PA	140	32	70
M72	PB	150	36	74
M76	PC	155	36	78

3-3. 丸座金

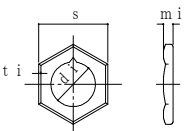
材質： 一般構造用圧延鋼材 SS400



呼び径	品番	d1	d2	tw
M24	C1	52	25	9
M30	C2	58	31	12
M36	C3	68	37	16
M42	C4	78	43	19
M48	C5	90	50	19
M52	C6	100	54	25
M56	C7	108	58	28
M60	C8	114	62	32
M64	C9	120	66	36
M68	CA	128	70	36
M72	CB	134	74	36
M76	CC	140	78	36

3-5. 六角リング

材質： JIS G3131 SPHC



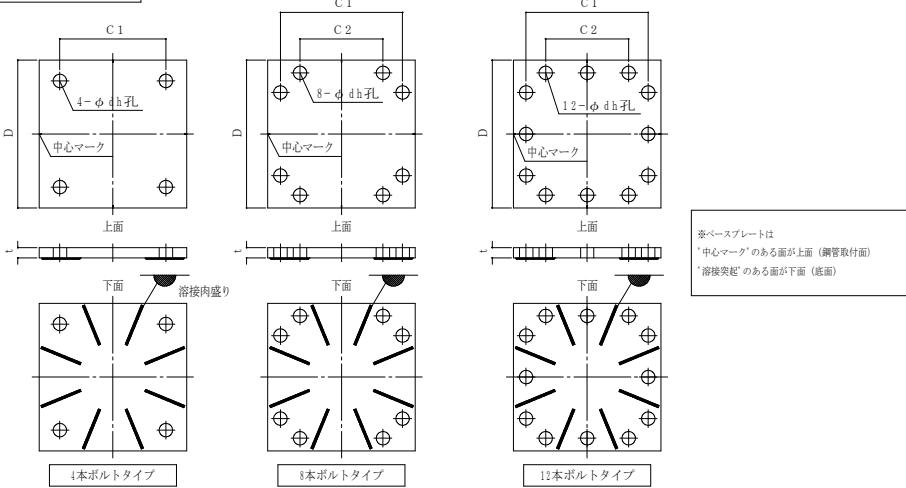
呼び径	S	di	mi	ti
M24	36	22.5	5	1.6
M30	46	28.9	7	2.0
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3
M48	75	45.7	10	2.3
M52	80	49.9	11	2.8
M56	85	52.6	12	2.8
M60	90	56.6	12	3.2
M64	95	60.3	13	3.2
M68	100	64.3	14	3.2
M72	105	68.2	14	3.6
M76	110	72.2	15	3.6

2. ベースプレート

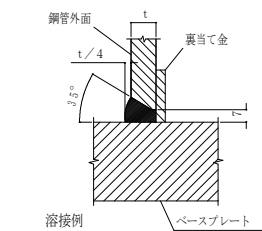
2-1. 材質

JIS G 3136 SN490B (t=40mm以下の場合)
建築構造用認定鋼板 TMCP325B (t=40mmを超える場合)

2-2. 形状と寸法



2-3. 柱材との溶接



柱材とベースプレートの溶接は、完全溶け込み溶接とする。

※溶接施工に関しては、
「日本建築学会；建築工事標準仕様書 JASS 6鉄骨工事」に準じる。

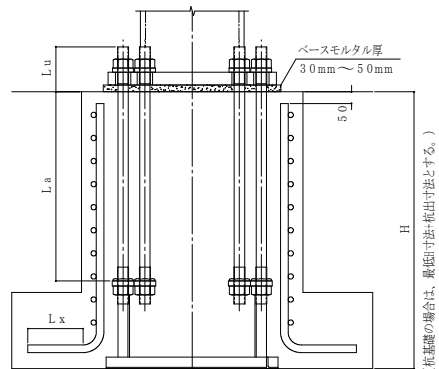
※柱材のめっき仕様について
柱材をめっきする場合は、弊社までご相談ください。

4. コンクリート柱形

4-1. 使用材料

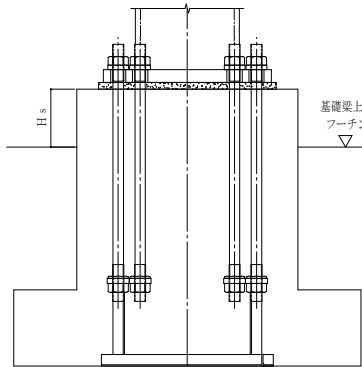
コンクリート： $F_c=21\text{N/mm}^2$ 以上（□550以下）
 $F_c=24\text{N/mm}^2$ 以上（□600以上）
鉄筋： JIS G 3112 SD295A (D16以下)
JIS G 3112 SD345 (D19～D25)
JIS G 3112 SD390 (D29以上)

4-2. 形状・配筋



- 主筋頂部のフックは、設けないことを標準とする。
- トップフープは、シングルの標準とする。
- Lsは、使用する主筋呼び径の10倍以上とする。
- 主筋、帯筋の径・本数は、標準柱形の場合を示す。
- 柱形の幅（bc）を標準柱形より上げた場合、検討が必要。
- 柱形を拡げる場合や、柱芯が偏心する場合は、弊社までご相談ください。

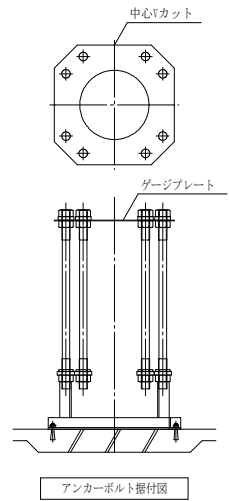
4-3. 基礎立上り部



- 柱形の配筋が標準の場合
基礎立上り高さ（Hs）は、250mm以下とする。
- 立上り高さ（Hs）が250mmを超える場合は、
検討が必要となるため、弊社までご相談ください。

5. 施工

※（ ）は、元請施工範囲を示す。
6. [コンクリート打設前検査]は、契約内容による。



- 施工打合せ
- （捨てコンクリートの打設）…捨てコン厚さは100mm以上とする。
- （墨出し）…柱芯を明示する。
- アンカーボルト据付
- （配筋・型枠）
ゲージプレートを外したり、上に物を置いたり、乗ったりしない。
アンカーボルト、セットフレーム等と鉄筋を拘束しない。
アンカーボルトに熱を加えない。
- [コンクリート打設前検査]
- （コンクリート打設）
- （鉄骨建方・アンカーボルトの本筋）
まんじゅう高さは（30～50mm）とする。
まんじゅうに使用する材料に規定はない。
まんじゅうの大きさは施工マニュアルを参照。
- ベースモルタルの充てん…ISグラウト以外は使用不可。
- ナットの緩み確認
- （充てん型枠脱型・廃棄）

6. 施工管理

- ISベースの施工（アンカーボルトの据付及びベースモルタルの充てん）は、弊社が認定した施工者が行う。
- 施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内にあることを確認する。
- 材料は弊社にて支給する。支給品以外の材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
- アンカー用ボルトセットは大臣認定材である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。